

つなぐれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO ニュース

つなびる通信 vol. 9

東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 (企画実施担当・センター分科会)



◎このニュースは、東社協 東京都高齢者福祉施設協議会の会員施設・事業所である養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウスを含む)、デイサービスセンター、地域包括支援センター、在宅介護支援センターにお送りしています。

トピックス

ふりかえりの会実施～みんなで見つけたよりそのヒント～



山口さん(千歳敬心苑)の実施報告の様子。

12月21日に「つなぐれひろがれちいきの輪 in TOKYO ふりかえりの会」を実施し、キャンペーン参加施設を中心に43名が参加しました。

<開催内容>

西岡会長あいさつ

(施設と小学校の交流活動の話)

実施報告

- ①「地域高齢者との食事会とミニコンサートの集い」栗原 隆寛さん(伊奈平苑)
- ②「みんなで知ろう介護の日」柴 和代さん(多摩けやきの里)
- ③「特養へ行こう!」山口 晃弘さん(千歳敬心苑)

グループワーク

- ①「各施設で今後すすめたいこと」
- ②「キャンペーンについて気づいた点」

まとめ

西岡会長のあいさつでは、白十字ホームと地域の小学校との授業を通じた交流活動の話で「地域の方たちが主役になるような支えになることが大切」といった言葉がありました。活動が四半世紀も続いてきたのはPTAをはじめとする地域の方が必要だと感じたことに手を添えることにあると思えました。

実施報告では3名の方からお話いただきました。中でも、千歳敬心苑では、民生委員の協力のもと、認知症介護にかかわる家族などを招き、特養への見学や車いす体験を実施しました。地域で関心がありそうな方に向けて知る機会をつくることで特養のイメージが変わることを実感し、今後も定期的に続けたいと語っていました。



グループワークでは①「各施設で今後すすめたいこと」②「キャンペーンについて気づいた点」を話し合いました。①について、「地域住民との日常的な関わりづくり」「施設内で活動の浸透さ」「無理なく継続できる取組み」「活動の軸となる人の育成」など、②について、「キャンペーンの周知不足」「参加施設同士の見学会の開催」「障害・保育・母子など他分野の施設との共催」などの意見があがりました。他施設とつながることで普段からの行っている取組みや地域住民とのかわりに生かせるヒントになったかと思います。

事務局では、今回の様子を踏まえながら、今年度の都内の取り組みをまとめ報告書の作成、そして次年度のキャンペーンにむけて準備していく予定です。

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当

TEL:03-3268-7172 / FAX:03-3268-0635 / E-mail: kourei@tcs.w.tvac.or.jp

